

働く中2

働くを考える・・・職場体験は地域から学ぶ最高のキャリア教育！

2年生は11月8日、9日、10日の3日間、美山町内外の14の事業所で職場体験学習に取り組みました。生徒は20の事業所の中から希望する体験先を選び、生徒自らが希望先の事業所に電話をかけて体験の受け入れをお願いし、体験先の職場を決めました。どの生徒も職場では暖かい指導を受けながら、緊張感を持って仕事に取り組んでいました。いつものことながら、美山の子どもたちは美山の人に育てていただいているのだと改めて感じます。



12月12日、職場体験を終えた2年

職場体験を通して感じたこと、これからの自分に向けて

生は事業所の方8名をお招きして、職場体験で学んだことを発表しました。体験前は、働く目的は給与をもらうため、生活のためと思っていたけれど、実際に一緒に働いた皆さんのお話を聞いて、いろいろな目的ややりがいがあると気付いたようです。サービス業の方は、お客様に喜んでもらえることにやりがいを感じておられ、農業などものづくりをされている方は、ものづくりをする上での楽しみなど、働くことは大変だけれど楽しいこと嬉しいこともあると教えていただきました。事業所の方からは「中学生の皆さんは様々な経験や体験を通して、視野や知見を広げるためにも、多くのことを学んでほしい。」と話されました。職場体験を快く受け入れて頂きました事業所の皆様、大変ありがとうございました。



従来、美山中学校の3年生は「聞き書き」学習として、地域の方に話をお聞きし、その話を元にお話しただいた方を一人称にした自伝風の文章に仕上げ、冊子にまとめてきました。今年は「ドキュメンタリー～地域人材に学ぶ～」をテーマに、タブレット端末を活用し、地域で活躍されている方のお話を聞きながら動画の撮影を行い、ドキュメンタリー動画の作成に取り組むことにしました。美山町がUNWTO（国連世界観光機関）の「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」の認証を受けたことに

ちなんで、美山の観光業で活躍される4名の女性を取材し、生徒は4つのグループに分かれ、話を聞く生徒、タブレットで撮影をする生徒と役割を決めて取材を行いました。

知井・平屋の生徒は磯部さん、宮島の生徒は武田さん、大野の生徒は仲江さん、鶴ヶ岡の生徒はバゲさん取材しました。生徒の質問に答えながら、仕事上で心がけていること、苦労や楽しみなどを語っていただきました。お忙しい中取材にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



磯部 紀佐 さん

平屋の長尾で「料理旅館いそべ」を経営されています。歴史ある建物を案内していただきながらお話を伺いました。



ティナ バゲ さん

鶴ヶ岡の栃原で古民家を改修し、一棟貸しの宿「カーサ美山」をご主人と営まれています。お生まれはスペインです。



武田 晶子 さん

宮島の長谷で「民宿みやま」を営まれています。元の家業が材木屋で、立派な木が使われた建物をめぐりながら、お話を伺いました。



仲江 佐代 さん

大野の小淵にある京都みやび交通で、デマンドバスやタクシーの運転手をされています。取材時には観光バスを大野ダムまで運転していただきました。

動画編集と発表会

KCNなんたんの平岡さんに動画作成の技術的な指導をいただきました。12月6日に編集中の動画を見てコメントをもらい、生徒は動画の完成度を高める編集作業に取り組みました。タブレットを活用し、編集アプリを使いこなし、てきぱきと編集作業を行っていました。



12月22日のアンビシャスタイムで、出来上がった動画を発表しました。美山で活躍される女性の魅力が表現されたドキュメンタリー動画に仕上がっており、参加された保護者や地域の方、取材を受けてくださった方からも好評をいただきました。

生徒たちの日頃の学校生活を
ホームページでもご覧ください！

